

注入し、3, 6, 24, 48時間後にシンチカメラ (Pho/Gamma HP) で頭部正側面の RI image を撮ると共に放射能 (cpm) を測定した。定性的所見として、脳室描画、脳槽集積異常および24~48時間での脳表集積の有無を検索し、他方定量的所見として、back ground で補正した計数率の経時的推移を求め、その6時間値に対する24時間値の比 ( $C_{24}/C_6$ ) および48時間値の比 ( $C_{48}/C_6$ ) を定性的所見と比較した。

脳室描画 (-) で脳槽集積異常 (-), 脳表集積 (+) であった閉塞性水頭症2例を含む8例の  $C_{24}/C_6$  と  $C_{48}/C_6$  はそれぞれ  $0.48 \pm 0.21$ ,  $0.18 \pm 0.12$  となり、他の定性的所見を示す群と較べて有意 ( $p < 0.01$ ) に低値であった。一方、脳室描画 (+) で脳槽集積異常 (+), 脳表集積 (-) であった8例の  $C_{24}/C_6$  と  $C_{48}/C_6$  はそれぞれ  $0.97 \pm 0.28$ ,  $0.50 \pm 0.19$  と著しい高値を示し、脳室描画 (+) の他の群と較べて有意に高値であった。このように、定性的所見と定量的所見とは比較的良好に相関したが、他の検査所見をも総合すると、定量的所見の方が脳脊髄液の循環動態異常をより適確に捉えていると考えられた。今後も症例を重ね更に検討したい。

### 23. 甲状腺未分化癌への $^{67}\text{Ga}$ -citrate スキャン

杉原政美 立野育郎  
 (国立金沢病院・放)

(対象・方法)

斜生検、手術所見で診断の得られた12例の甲状腺疾患 (subacute thyroiditis を除く) に対し、 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -Scan 施行4日目以後、 $^{131}\text{I}$  Scan 施行14日目以後に  $^{67}\text{Ga}$ -citrate Scan を施行した。 $^{67}\text{Ga}$ -citrate 2~3 mCi 静注後 4000hole collimator 装着  $\gamma$ -camera を用い 190 KeV  $\pm 20\%$  でシンチフォトを作製した。

(結果)

判定は“cold” area のあるものは、正常部との比較により、そうでないものは胸骨及び唾液腺との比較により higher のもののみ陽性とした。

結果は、未分化癌 4/4, 分化癌 1/2, 慢性甲状腺炎 0/1, 亜急性甲状腺炎 1/1 に陽性をみとめ、良性腺腫 0/2 で集積を認めなかった。未分化癌のうち2症例は放射治療後  $^{67}\text{Ga}$ -集積は陰性化した。文献的にも  $^{67}\text{Ga}$  は未分化癌に高率に集積するのに対し分化癌での集積率は低い。しかし亜急性、慢性甲状腺炎にもかなりの率で集積するといわれている為、良性悪性の鑑別には応用価値は低い。しかし未分化癌に高率に集積を認めるという事実は、低頻度の疾患であるにせよ予後が全く不良であり早期に放射線治療の必要とする未分化癌の発見に有益と考えられる。とにかくリンパ節を触知する例、長径5 cm以上の結節例、急速な腫瘍の増大をみる例、有痛性の甲状腺疾患など悪性の疑いの強い場合に  $^{67}\text{Ga}$ -citrate Scan は、試みる価値があると考えられる。

### 24. 原発不明癌の腫瘍シンチによる診断

桜井邦輝 木戸長一郎 松尾 孝  
 三原 修 安部忠夫  
 (愛知県がんセンター病院)

リンパ系腫瘍を除く原発不明癌の症例に、腫瘍シンチを施行した13例について調査した。このうち最終的診断が決定しているのは、12例で、11例は  $^{67}\text{Ga}$  citrate で、1例は  $^{57}\text{Co}$  Bleo でシンチグラフィが施行してある。

原発癌腫瘍のみが陽性に描出されたために診断可能であった症例は3例であり、このうちの腭癌の症例は  $^{57}\text{Co}$  Bleo で検査が行われている。また甲状腺癌の症例は、左頸部が、わずかに陽性に見られたにすぎないが、他に陽性像が見られぬので甲状腺癌と診断され、これは手術により証明された。他の9例は、頸部 Ganglion neuroblastoma の1例を除いて、頸部リンパ節、胸水、痰から発見された癌細胞の型を参考にして、腫瘍シンチを読む事により、原発癌診断が可能であった。

Ganglion neuroblastoma の1例は、原発部位が、鼻咽頭部の陽性像の部位に重なったため、原発腫瘍を識別できなかった。